

2022年3月期決算説明会

2022年5月26日



フランスベッドホールディングス株式会社

<https://www.francebed-hd.co.jp/> 証券コード：7840

- ◆ 2022年3月期 業績報告
- ◆ 2023年3月期 業績見通し
- ◆ 今後の主な取り組みについて

2022年3月期 業績報告

1. 2022年3月期 連結業績

●増収、増益

(百万円)	前期 (2021年3月期)	当期 (2022年3月期)			
		計画 (注)	実績	計画 達成率	前期比 増減率
売上高	52,430	54,000	54,398	100.7%	+3.7%
売上原価	25,392	—	25,398	—	—
売上原価率	48.4%	—	46.6%	—	▲1.7 P
売上総利益	27,038	—	28,999	—	+7.2%
販管費	23,792	—	25,081	—	+5.4%
営業利益	3,246	3,700	3,918	105.8%	+20.7%
営業利益率	6.1%	6.8%	7.2%	—	+1.0 P
経常利益	3,451	3,650	3,959	108.4%	+14.7%
経常利益率	6.5%	6.7%	7.2%	—	+0.7 P
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,295	2,350	2,557	108.8%	+11.3%
1株当たり当期純利益 (円)	59.87	62.70	69.35	—	—

(注) 2021年5月14日に公表した業績予想数値

■ 当期 R O E : 6.8% (前期6.1%)

2. 2022年3月期 セグメント別損益実績

●メディカルサービス事業は増収・減益、インテリア健康事業は増収・増益

(百万円)		前期	当期			
			計画	実績	計画達成率	前期比増減率
メディカル サービス事業	売上高	32,839	34,200	34,484	100.8%	+5.0%
	セグメント利益	2,956	3,000	2,882	96.0%	▲2.4%
	利益率	9.0%	8.7%	8.3%	—	▲0.6P
インテリア 健康事業	売上高	19,186	19,800	19,419	98.0%	+1.2%
	セグメント利益	511	650	1,117	171.8%	+118.6%
	利益率	2.6%	3.2%	5.7%	—	+3.1P
その他	売上高	404	0	494	—	+22.1%
	セグメント利益	4	0	3	—	▲5.4%
調整額	売上高	—	—	—	—	—
	セグメント利益	▲20	—	▲45	—	—
合 計	売上高	52,430	54,000	54,398	100.7%	+3.7%
	セグメント利益	3,451	3,650	3,959	108.4%	+14.7%

3. 2022年3月期 メディカルサービス事業の概況

(百万円)	前期		当期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
連結売上高	32,839	—	34,484	—	+1,645	+5.0%
フランスベッド(株)	31,846	96.1%	32,505	93.3%	+658	+2.0%
介護関連レンタル売上	17,816	53.7%	19,246	55.2%	+1,430	+8.0%
病院施設向け物件取引	4,682	14.1%	4,174	11.9%	▲508	▲10.9%
その他	9,348	28.2%	9,085	26.0%	▲263	▲2.8%
(株)翼	782	2.3%	795	2.2%	+13	+1.7%
カシダス(株)	490	1.4%	978	2.8%	+487	+99.3%
(株)ホームケアサービス山口	—	—	535	1.5%	+535	—
単純合計	33,120	100.0%	34,815	100.0%	+1,695	+5.1%
連結経常利益	2,956	9.0%	2,882	8.3%	▲73	▲2.4%

※水色の網掛部分の数値は連結前の数値です。なお、M&Aによる買収時期のタイミングから、カシダス(株)の前期実績は5か月間の実績となり、(株)ホームケアサービス山口の当期実績は3か月間の実績となります。

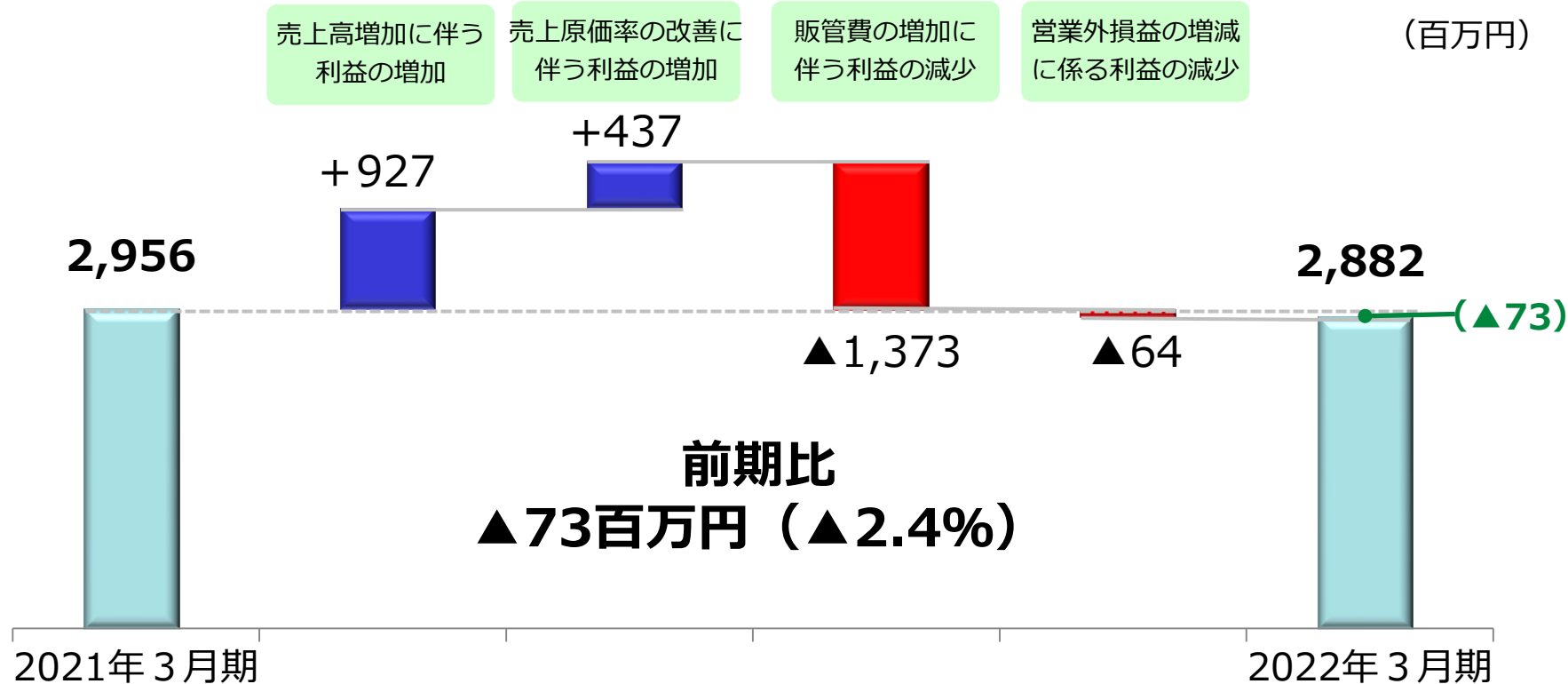
【売上高増収要因】

・主力の介護関連レンタル売上の需要が堅調に推移。さらに、当期より、山口県を中心に福祉用具貸与事業等を展開する(株)ホームケアサービス山口の全株式を取得し連結子会社としたことで伸長。

【経常利益減益要因】

- ・前年に特需のあったオゾン消毒器などの感染症対策商材が大幅に減収。
- ・中期経営計画に基づき投下した人員・配送車両などの事業拡大費用が増加。

4. メディカルサービス事業の経常利益増減要因



● 経常利益減益の主要因は販管費の増加

売上増加の主要因：福祉用具貸与事業の堅調な拡大およびM&Aによる買収1社の連結化他

売上原価率低減の主要因：売上原価率が低い介護関連レンタルの売上構成比が上昇

販管費増加の主要因：福祉用具貸与事業のインフラ拡充ならびに買収1社を連結対象としたため
人件費を中心に増加

5. 2022年3月期 インテリア健康事業の概況

(百万円)	前期		当期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
連結売上高	19,186	100%	19,419	100%	+232	+1.2%
連結経常利益	511	2.6%	1,117	5.7%	+606	+118.6%
ホテル向け売上※	1,776	—	1,405	—	▲371	▲20.9%

※水色の網掛け部分の数字は、事業会社のフランスベッド(株)単体の数値です。

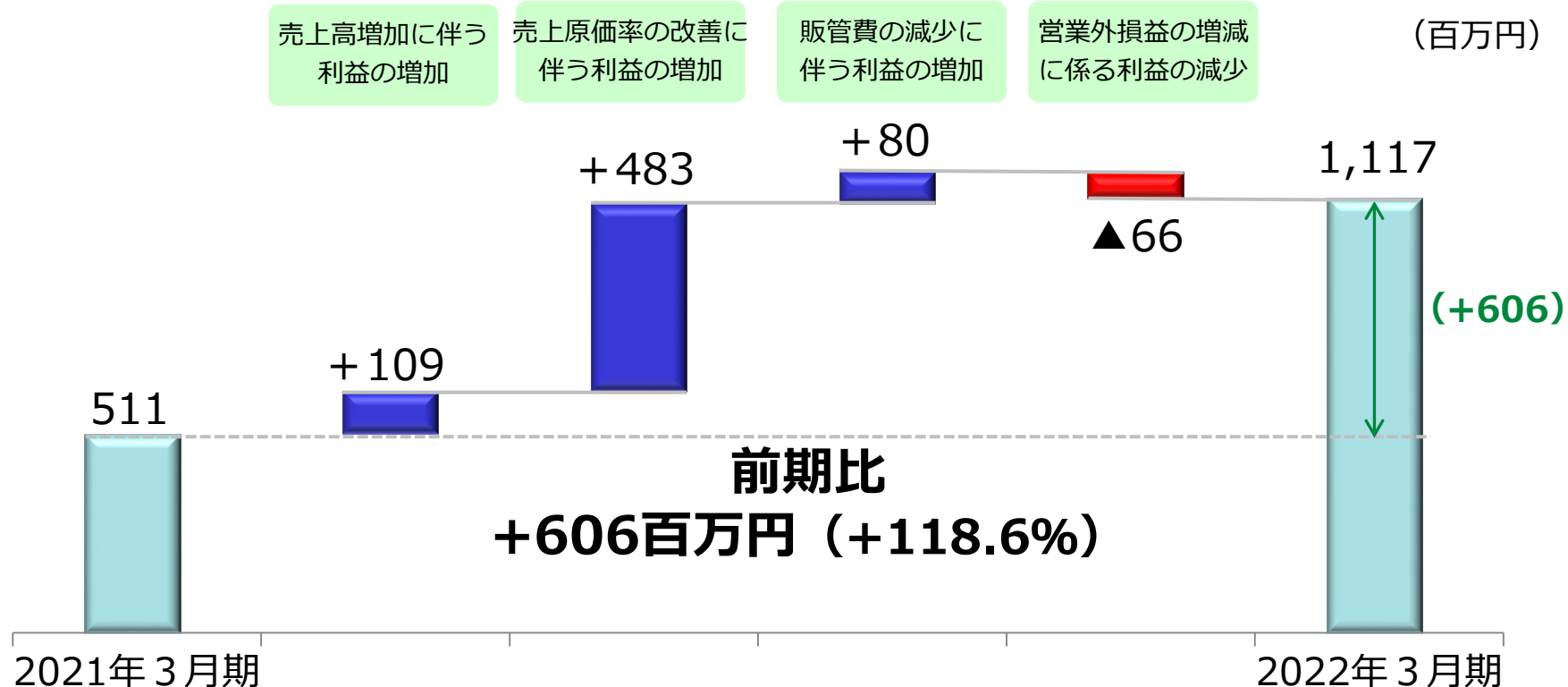
【売上高増収要因】

- ・前期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により家具店への来客数が減少し、展示販売会なども中止となっていたものが、徐々に正常化。
- ・コロナ禍の長期化により、経営が悪化したホテル向け売上が大幅に減少。

【経常利益増益要因】

- ・高付加価値商品の販売に注力した結果、採算性が向上。
- ・中高級品へシフトし、廉価品・普及品の販売量が減少したことで物流費が低減。

6. インテリア健康事業の経常利益増減要因



● 経常利益増益の主要因は売上原価率の改善

売上増加の主要因：前期1回目の緊急事態宣言発令等により低迷していた家具販売店向け売上が回復

売上原価率改善の主要因：粗利率が高い高単価・高付加価値マットレスの販売が好調

販管費減少の主要因：運賃などが減少

7. 2022年3月期末 連結貸借対照表

(百万円)	前期末 (2021年3月31日)	当期末 (2022年3月31日)	前期末比
流動資産	32,055	31,159	▲895
固定資産	30,135	33,128	2,993
繰延資産	27	10	▲17
資産合計	62,217	64,298	2,080
流動負債	17,698	19,174	1,475
固定負債	7,106	7,583	477
負債合計	24,804	26,757	1,953
株主資本	35,255	35,677	421
その他の包括利益累計額	2,157	1,862	▲294
純資産合計	37,412	37,540	127
負債純資産合計	62,217	64,298	2,080
自己資本比率	60.1%	58.3%	▲1.7P

連結貸借対照表の状況（主な増減要因、トピック）

- ①資 産 +2,080百万円 ・ 有価証券▲1,600
・ 有形固定資産+2,383（新東京サービスセンター建物取得など）
- ②負 債 +1,953百万円 ・ 借入金+2,737、リース債務+789、未払法人税等▲738など
- ③純資産 +127百万円 ・ 当期純利益+2,557、剰余金の配当▲1,154、自己株式▲933など
- ④自己資本比率 58.3% ▲1.7pt

8. 2022年3月期 キャッシュ・フローの状況

(百万円)	営業活動によるCF	投資活動によるCF	財務活動によるCF	現金及び現金同等物期首残高	現金及び現金同等物増減額	現金及び現金同等物期末残高
2021年3月期	10,408	▲6,995	▲1,918	10,636	+1,565※	12,202
2022年3月期	6,011	▲7,778	316	12,202	▲1,423※	10,778
前期比	▲4,396	▲782	+2,235	—	—	▲1,423

※営業、投資、財務活動によるCFのほか、2021年3月期は連結範囲の変更により70百万円現金同等物が増加、2022年3月期は非連結子会社との合併により25百万円現金同等物が増加した。

連結キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物残高は前期末比1,423百万円減少して10,778百万円

① 営業活動によるキャッシュ・フロー (6,011百万円の収入)

(収入) 税金等調整前当期純利益3,883百万円、減価償却費5,468百万円など

(支出) 棚卸資産の増加678百万円など

② 投資活動によるキャッシュ・フロー (7,778百万円の支出)

(支出) 有形固定資産の取得6,403百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得1,285百万円など

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー (316百万円の収入)

(収入) 短期借入金600百万円、長期借入金2,300百万円、セール・アンド・リースバックによる収入3,828百万円など

(支出) 自己株式の取得990百万円、ファイナンス・リース債務返済3,361百万円、配当金の支払額1,152百万円など

2023年3月期 業績見通し

1. 業績予想の前提条件（主力事業の環境認識と課題について）

事業	事業環境	課題と取組み
メディカルサービス事業	（外部環境） ・高齢者と介護保険利用者は引き続き増加する。 ・ウクライナ情勢や円安進行に起因する原材料価格高騰の恐れ。	・拡大する福祉用具貸与市場に対応するため、人員や拠点数を拡大。 ・レンタル事業での原材料高騰の影響は限定的だが、レンタル原価低減に向けてレンタル資産管理体制を強化。
	（内部環境） ・前期にM & Aで子会社化した「ホームケアサービス山口」の業績寄与が本格化	・子会社管理体制の強化。
インテリア健康事業	（外部環境） ・市場の縮小と家具小売店の寡占化が継続。 ・ウクライナ情勢に起因する原材料価格高騰の恐れ。 ・環境経営、E S G 経営課題への対応要請の高まり。	・自社商品の展示・販売機会の拡大のため、ショールームの活用を強化。 ・新製品への切り替え時等に価格改定（値上げ）を行う。 ・「モアリー」等の環境にやさしい商品の開発と投入を進める。
	（内部環境） ・収益性は改善されるも売上高の減少が継続している。	・T Vコマーシャルの新規展開やショールームの新設等で自社製品の露出機会を拡大。

2. 2023年3月期 連結業績予想

■ 連結損益計画

(百万円)	前期実績 (2022年3月期)	当期計画 (2023年3月期)	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	54,398	57,500	+3,102	+5.7%
営業利益	3,918	4,200	+282	+7.1%
利益率	7.2%	7.3%	—	+0.1P
経常利益	3,959	4,180	+221	+5.5%
利益率	7.2%	7.2%	—	±0.0P
当期純利益	2,557	2,650	+93	+3.6%
利益率	4.7%	4.6%	—	▲0.1P
1株当たり純利益 (円)	69.35	72.71	—	—

3. 2023年3月期 セグメント別業績予想

■セグメント別損益計画

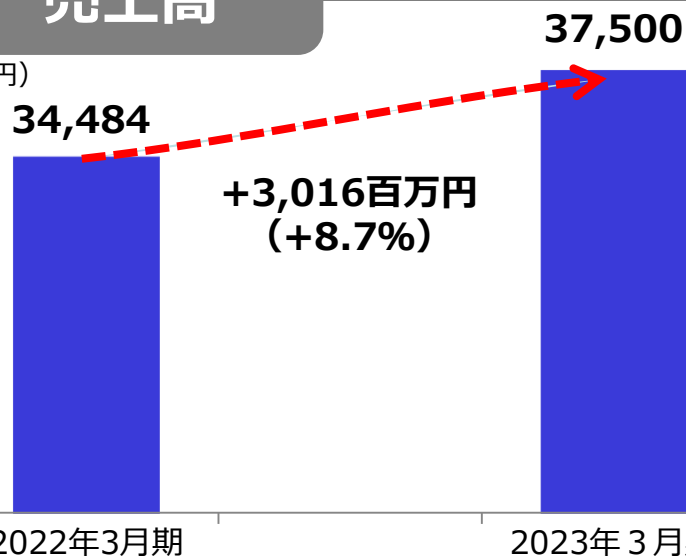
(百万円)		前期実績 (2022年3月期)	当期計画 (2023年3月期)	前期比 増減	前期比 増減率
メディカル サービス事業	売上高	34,484	37,500	+3,016	+8.7%
	経常利益	2,882	3,030	+148	+5.1%
	利益率	8.3%	8.0%	—	—
インテリア 健康事業	売上高	19,419	19,800	+381	+1.9%
	経常利益	1,117	1,180	+63	+5.6%
	利益率	5.7%	5.9%	—	—
合 計	売上高	54,398	57,500	+3,102	+5.7%
	経常利益	3,959	4,180	+221	+5.5%
	利益率	7.2%	7.2%	—	—

注) 報告セグメントではない「その他」を除いております。

4. メディカルサービス事業の見通しと主な取り組み

売上高

(百万円)



【2023年3月期 通期計画】

売上高：37,500百万円

(前期比+3,016百万円、+8.7%)

経常利益：3,030百万円

(前期比+148百万円、+5.1%)

主な施策



◆ 中期経営計画の戦略に則り 福祉用具貸与事業へ経営資源を集中

① 福祉用具貸与事業の規模拡大

- ・ 営業所新設（5か所）
- ・ 営業員の増強（新卒含む62名採用）

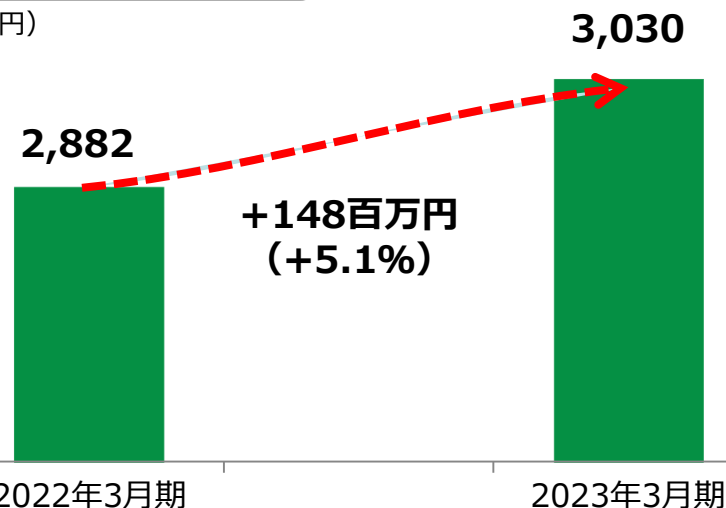
② レンタル重点商品の拡販

- ・ マルチポジションベッドの促進強化
- ・ 内製品マルチフィットてすりの促進

③ データ活用による費用削減、 業務効率の向上

経常利益

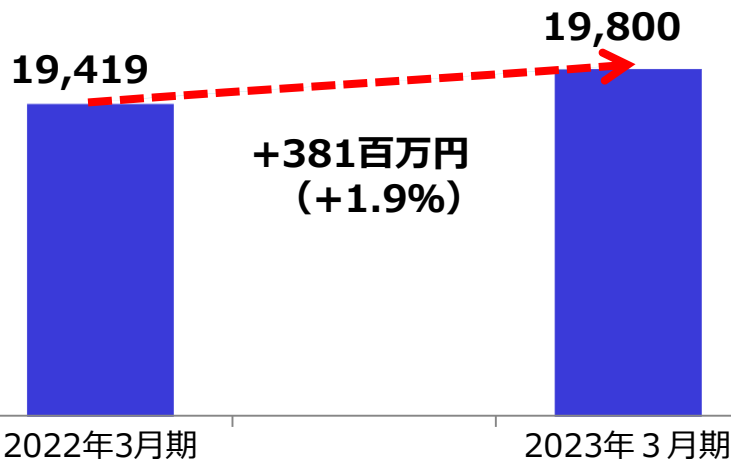
(百万円)



5. インテリア健康事業の見通しと主な取り組み

売上高

(百万円)



【2023年3月期 通期計画】

売上高：19,800百万円

(前期比+381百万円、+1.9%)

経常利益：1,180百万円

(前期比+63百万円、+5.6%)

主な施策



◆ **中期経営計画の戦略に則り、時代のニーズに合った商品展開により、利益率の拡大を図る**

①採算性の向上

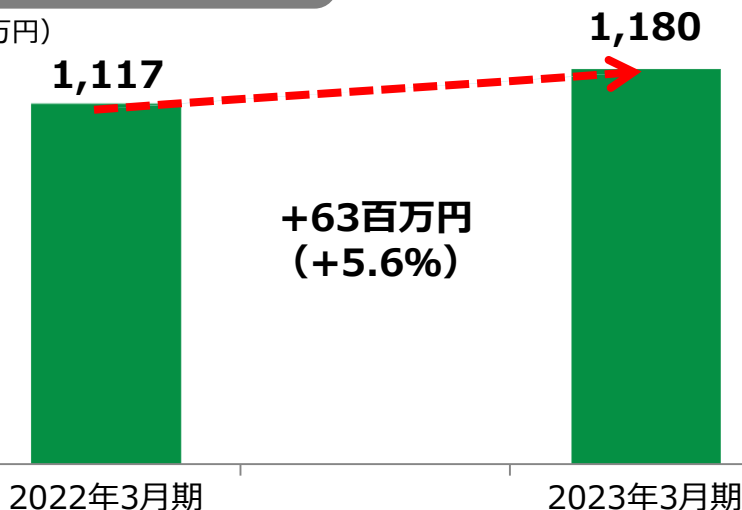
- ・ 高衛生、環境対応などの高付加価値商品、ベッド型マッサージ器などの独自機能を持つ商品の拡販

②自社製品をアピールする場の拡大

- ・ 自社グループ展示場新設（1カ所）
- ・ インショップギャラリーの拡大（6カ所）

経常利益

(百万円)



6. 設備投資について

(単位：百万円)		2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期計画
設 備 投 資 額	レンタル資産	4,288	4,554	4,553
	工場生産・物流設備	343	318	516
	サービスセンター	1,611	1,386	105
	ソフトウェアの取得	161	180	229
	その他	365	223	90
	合 計	6,770	6,663	5,496
減価償却費		4,931	5,468	5,828

<主な設備投資実績および計画>

2022年3月期 実績

レンタル資産取得：4,554百万円（メディカルサービス事業）

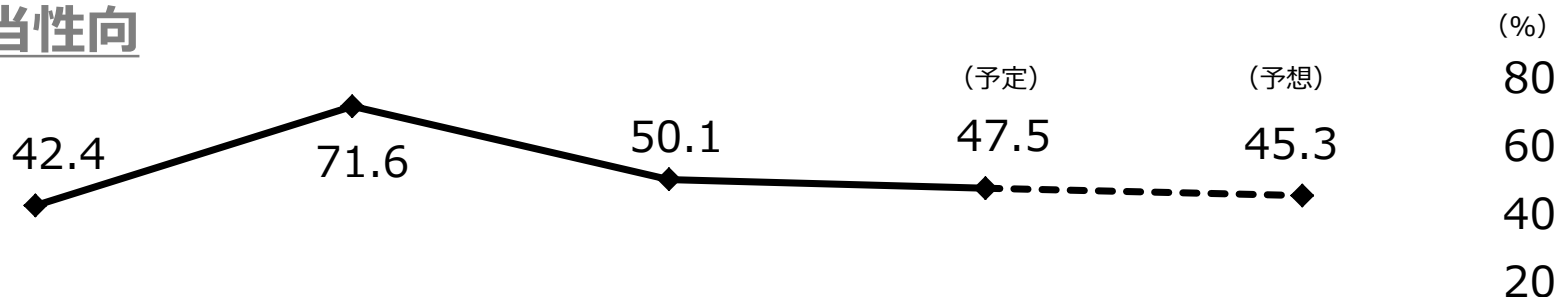
2023年3月期 通期計画

レンタル資産取得：4,553百万円（メディカルサービス事業）

7. 配当について

■ 1株当たり配当金と配当性向の推移

連結配当性向



1株当たり配当金 (円)

■ 記念配当

■ 期末

■ 中間

33.0
(予想)

年間

17.0
(予想)

期末

16.0
(予想)

中間

FB創立70周年
記念配当

3.0

12.5

12.5

14.0

14.0

16.0

14.0

18.0
(予定)

15.0

2019年3月期

2020年3月期

2021年3月期

2022年3月期

2023年3月期
(予想)

2022年3月期 (予定) : 年間配当33円 (配当性向47.5%)

2023年3月期 (予想) : 年間配当33円 (配当性向45.3%)

8. 連結業績推移

■ 直近5年間の連結業績推移

(百万円)		2019年 3 月期	2020年 3 月期	2021年 3 月期	2022年 3 月期	2023年 3 月期 (予想)
中間	売上高	25,296	26,329	24,398	25,978	—
	経常利益	1,156	1,083	1,480	1,901	
	利益率	4.5%	4.1%	6.0%	7.3%	
通期	売上高	51,764	52,430	52,430	54,398	57,500
	経常利益	2,361	2,436	3,451	3,959	4,180
	利益率	4.5%	4.6%	6.5%	7.2%	7.2%

今後の主な取り組みについて

1. メディカルサービス事業
2. インテリア健康事業

1. メディカルサービス事業

福祉用具貸与事業のシェア拡大

◆福祉用具レンタル営業拠点の拡大（連結子会社全体）

・シルバービジネスの更なる強化（得意分野への経営資源の集中）

102営業所
(2021年3月末現在)

113営業所
(2022年3月末現在)

117営業所
(2023年3月末計画)

営業拠点数推移



2022年度開設予定営業所（+ 5カ所）

- ・FBメディカル小平営業所（東京都小平市）
- ・FBメディカル大阪淀川営業所（大阪府大阪市）
- ・FBメディカル草加営業所（埼玉県草加市）
- ・FBメディカル神戸営業所（兵庫県神戸市）
- ・翼 東讃営業所（香川県讃岐市）

※FBへ吸収：カシダス神戸営業所（兵庫県神戸市）

◆営業員の増員（連結子会社全体）

2022年度 福祉用具営業員 + 62名増員

1. メディカルサービス事業

事業拡大を支えるインフラの拡充

基幹メンテナンスセンターの新築・移転計画



メディカレント東京
(東京都小平市)

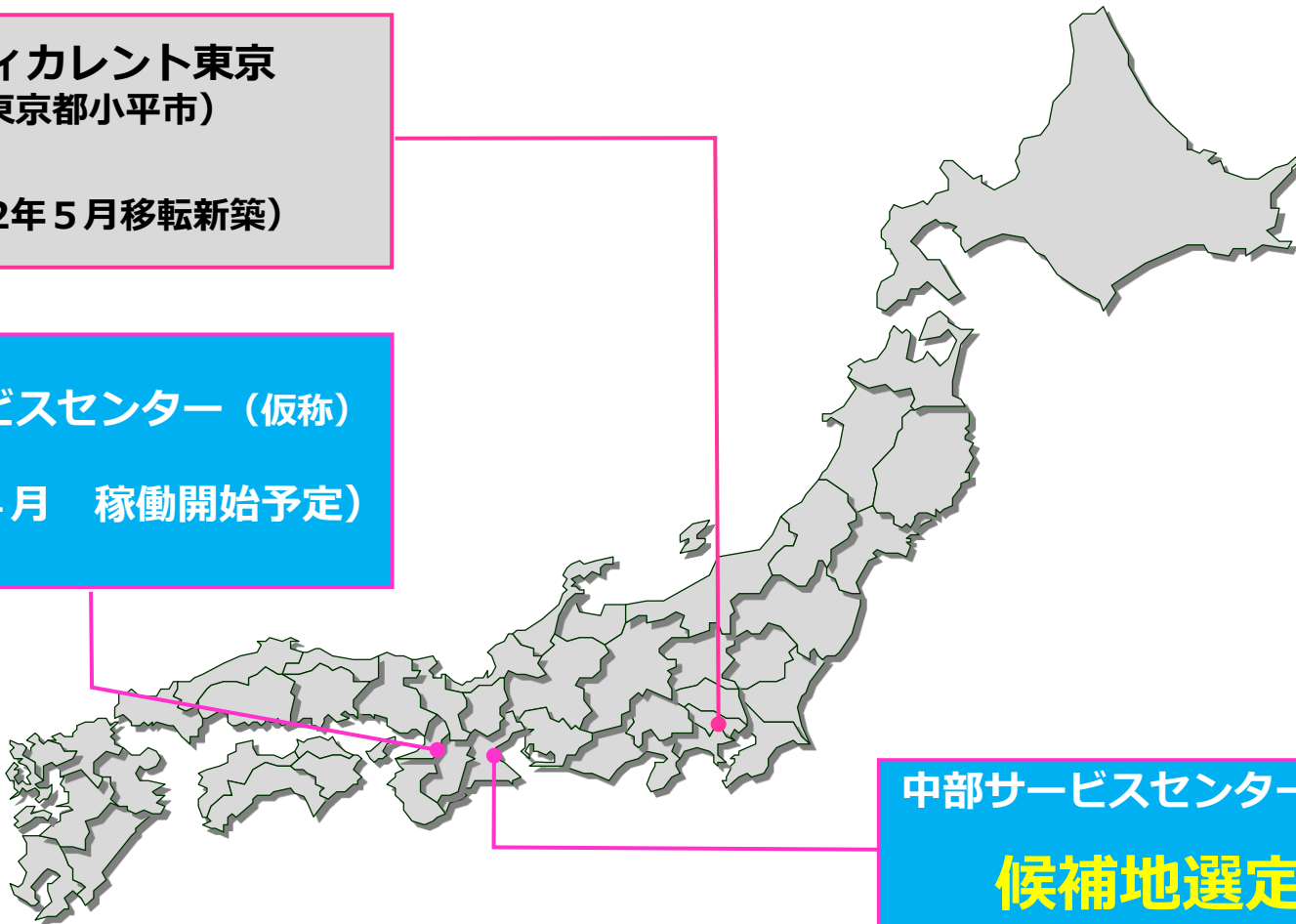
(2022年5月移転新築)

大阪サービスセンター (仮称)

(2023年4月 稼働開始予定)

中部サービスセンター (仮称)

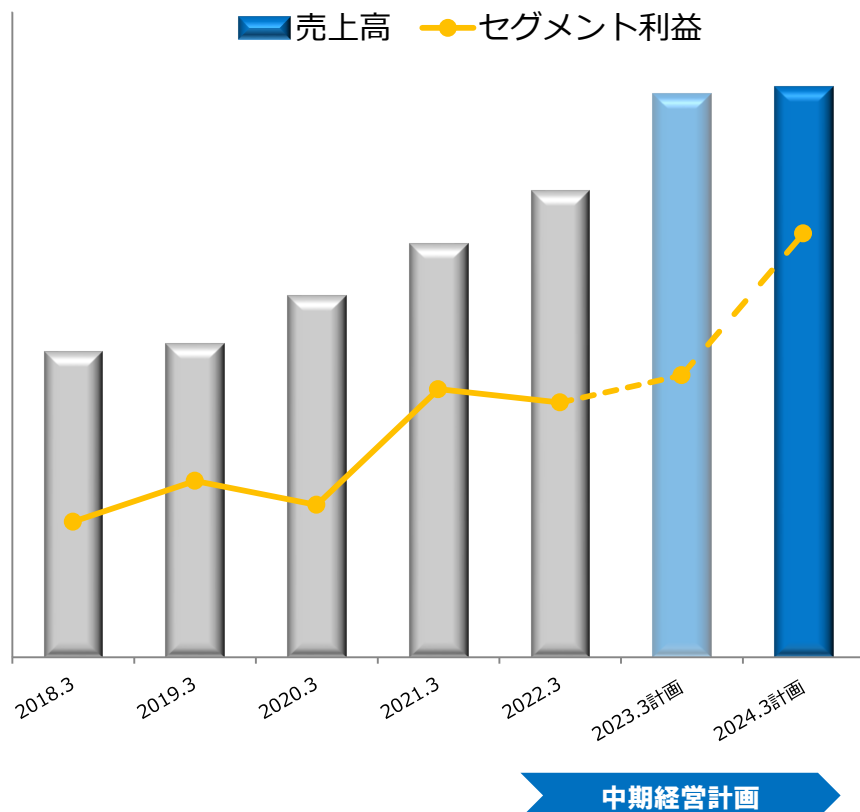
候補地選定中



1. メディカルサービス事業

レンタル品の廃却数削減への取り組み

メディカルサービス事業



福祉用具貸与事業は、堅調に業績を伸長

業績が伸長する一方、
毎年**10万点超**のレンタル品を**廃却**
簿価が残存している分だけでも
年間**2億5千万円分**廃却

廃却総数の削減

レンタルに適した
商品開発

環境負荷軽減・利益の拡大

1. メディカルサービス事業

病院・高齢者施設向け「法人レンタル」の強化

労力軽減につながる商品を導入しやすいレンタル価格でご提案

床ずれ予防
移乗支援
介助負担軽減



自動寝返り支援ベッド

離床支援
自立促進
介助負担軽減



離床支援 マルチポジションベッド

2. インテリア健康事業

時代のニーズに合った商品の開発

ひとりひとりに寝心地以上の豊かさをご提案

ルーパームーブ



グランマックス
プレミアム



2. インテリア健康事業

時代のニーズに合った商品の開発

動画

背中も脚も
連動して操作

介護保険適用の商品もございます

2. インテリア健康事業

「環境」に配慮した新たな付加価値創造への取り組み



マットレスの解体を容易にする構造で リサイクルを促進

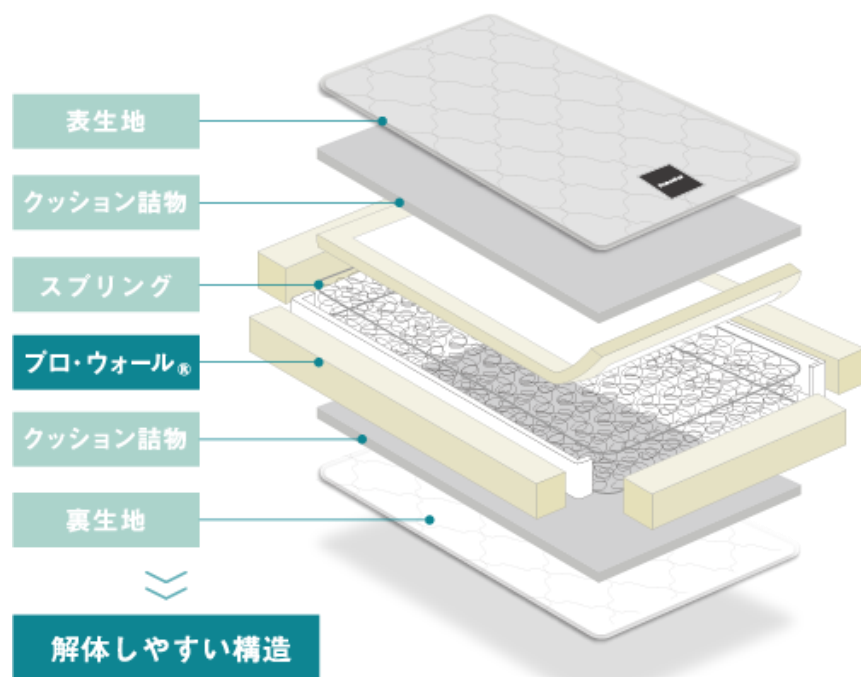


環境配慮型
マットレス解体システム
モアリー
「MORELIY」

マットレスを収集・受け入れてくれない
自治体数 約 **18%** (自社調べ)



エコマーク認定商品
21 130 003



今後、自社ショールームに展示する
マットレスは全てモアリー構造に切替

2. インテリア健康事業

「環境」に配慮した新たな付加価値創造への取り組み

動画

環境配慮型解体システム



MORELIY

ーもっと 簡単に リサイクルー

More easily for the Recycle

2. インテリア健康事業

「環境」に配慮した新たな付加価値創造への取り組み

マットレスに続く環境に負荷をかけないベッドフレーム
で、持続可能な社会づくりに貢献

環境配慮型ベッドフレーム
「LT 101 F PL LG」



LT-101F PL LG グレー色



ヘッドボード



PALM LOOP

パナソニック社開発のアブラヤシ廃材を活用した
再生ボード化技術「PALM LOOPパームループ™」



2. インテリア健康事業

販売店の動向に左右されない仕組みづくり

<自社グループ展示場>

32拠点 (2022.3実績)

- ✓ 主要な政令指定都市および中核市への出展は完了
- ✓ 優良物件があれば出展検討

<フランスベッドギャラリー※>

18拠点 (2022.3実績)

- ✓ 順次、設置店を拡大中

※家具販売店内の一部に設けられたフランスベッド製品のみを展示・販売している特設コーナー

<自社グループ展示場>

2021年7月	フランスベッド宇都宮ショールーム	新規オープン (北関東エリア初)
2021年11月	フランスベッド金沢 ショールーム	新規オープン (北陸エリア初)
2022年2月	フランスベッド小田原ショールーム	新規オープン (大型商業施設内初)
2022年4月	フランスベッドなんばショールーム	新規オープン (大阪府大阪市)

<フランスベッドギャラリー>

2021年4月	フランスベッドギャラリー東京八王子	オープン	(村内ファニチャーアクト八王子本店内)
2021年5月	フランスベッドギャラリーいわき	オープン	(吉田家具店内)
2022年2月	フランスベッドギャラリー三島	オープン	(栗田家具センター三島店内)

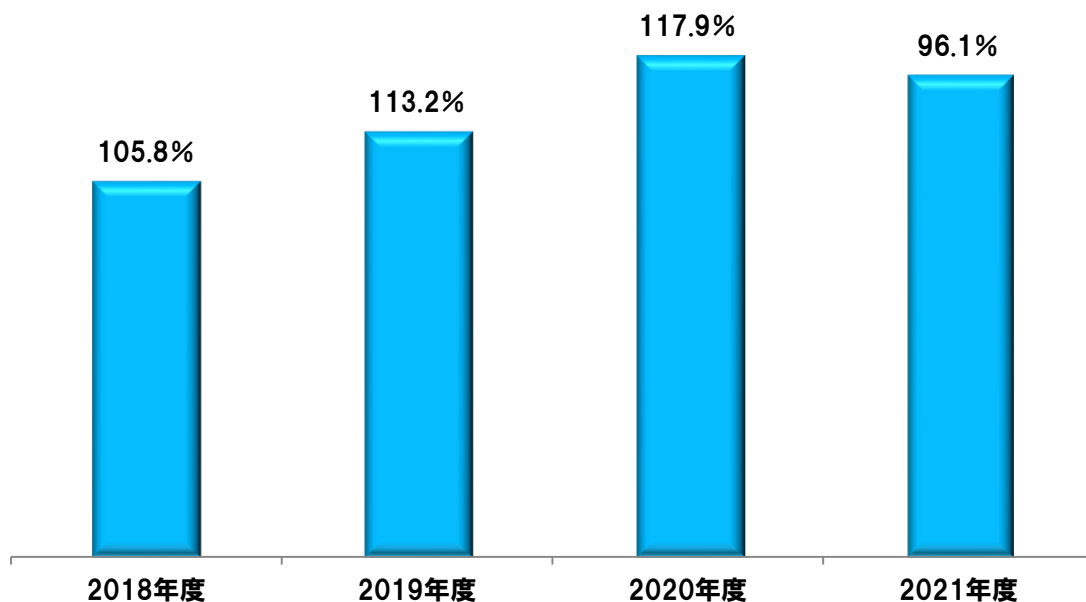


2. インテリア健康事業

拡大する E C 市場への対応

◆消費者の購買行動の変化に対応

【E C 売上高 前年伸長率推移】



インターネット通販事業者との
物流協業体制を構築

E C 発送代行



E Cで受注したベッド・
寝装品などの入庫、検品、保
管、在庫管理、ピッキング、
梱包、発送を当社が代行



質 疑 応 答

参考資料

当社（純粋持株会社）の概要

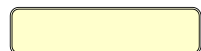
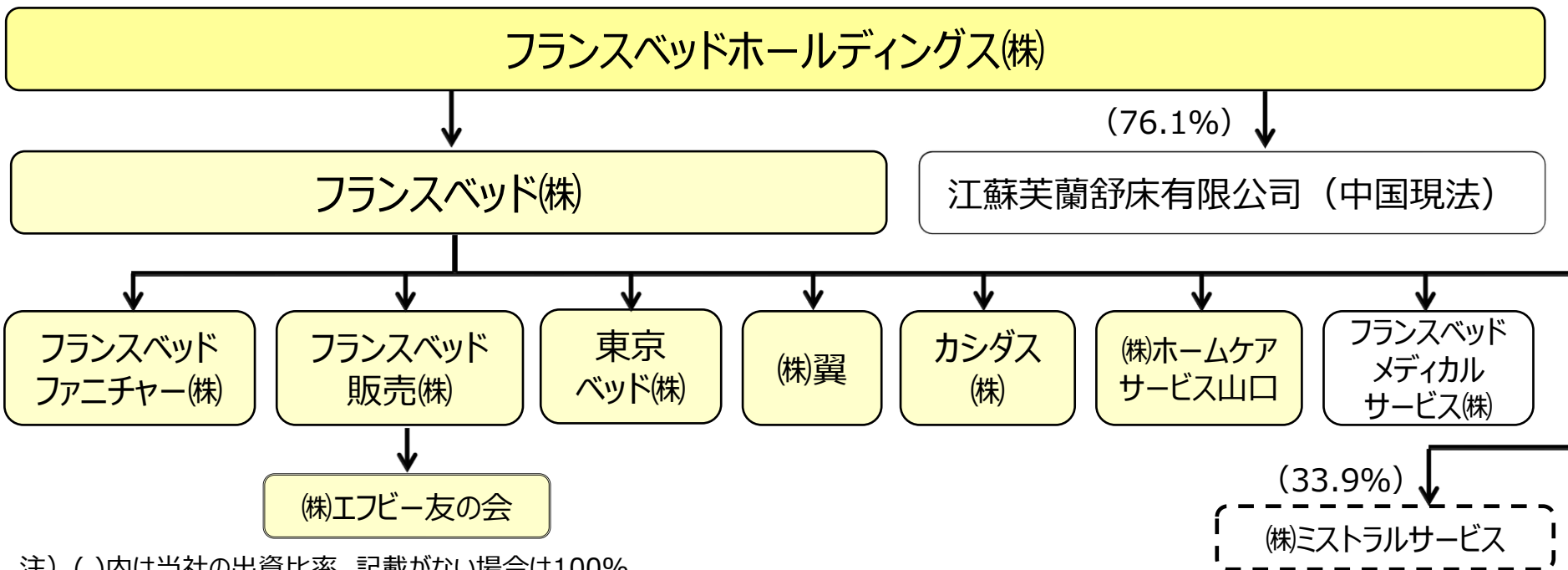
フランスベッドホールディングス株式会社の概要

商号	フランスベッドホールディングス株式会社
所在地	東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー6F
設立年月日	2004年3月30日
資本金	30億円
代表者	代表取締役会長兼社長 池田 茂
従業員数	55名（単体）、1,768名（連結） ※2022年3月末現在
事業内容	家庭用ベッド、医療・介護用ベッド、福祉用具、その他の家具、寝装品等の開発、生産、販売、レンタル、リース等に関連する事業を主として行う子会社の経営管理等
証券コード	7 8 4 0
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
発行済株式数	41,397,500株 ※2022年3月末現在
1単元の株式数	100株
決算期	3月31日

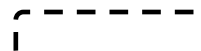


FRANCEBED HOLDINGS
ロゴマーク

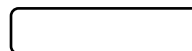
グループ会社の状況（2022年3月末日現在）



連結子会社



持分法適用会社



非連結子会社

セグメントの名称	主な事業の概要	主要な会社
メディカルサービス	医療・介護用ベッド、福祉用具の製造、仕入、レンタル、小売及び卸売、病院・ホテル等のリネンサプライ等	フランスベッド(株)、(株)翼、カシダス(株)、(株)ホームケアサービス山口、江蘇芙蘭舒床有限公司、フランスベッドメディカルサービス(株)、(株)ミストラルサービス
インテリア健康	ベッド・家具類・寝装品・健康機器等の製造、仕入及び卸売、個別訪問販売、広告、展示会場設営	フランスベッド(株)、フランスベッド販売(株)、(株)エフビー友の会、東京ベッド(株)、フランスベッドファニチャー(株)、江蘇芙蘭舒床有限公司
その他	不動産賃貸等	フランスベッド(株)、フランスベッド販売(株)

福祉用具貸与事業の流通構造と当社の事業領域

<当社の事業領域>

福祉用具・介護用品メーカー

・フランスベッド(株)、その他各社

↓ (販売)

福祉用具貸与事業者

(レンタル資産自社保有)

・フランスベッド(株)
・(株)翼
・カシダス(株)
・(株)ホームケアサービス山口
・取引先各社

↓ (販売)

レンタル卸業者

・フランスベッド(株)
・取引先各社

↓ (レンタル)

福祉用具貸与事業者

(レンタル資産非保有)

・取引先各社

ケアマネジャー
(ケアプラン相談・作成)

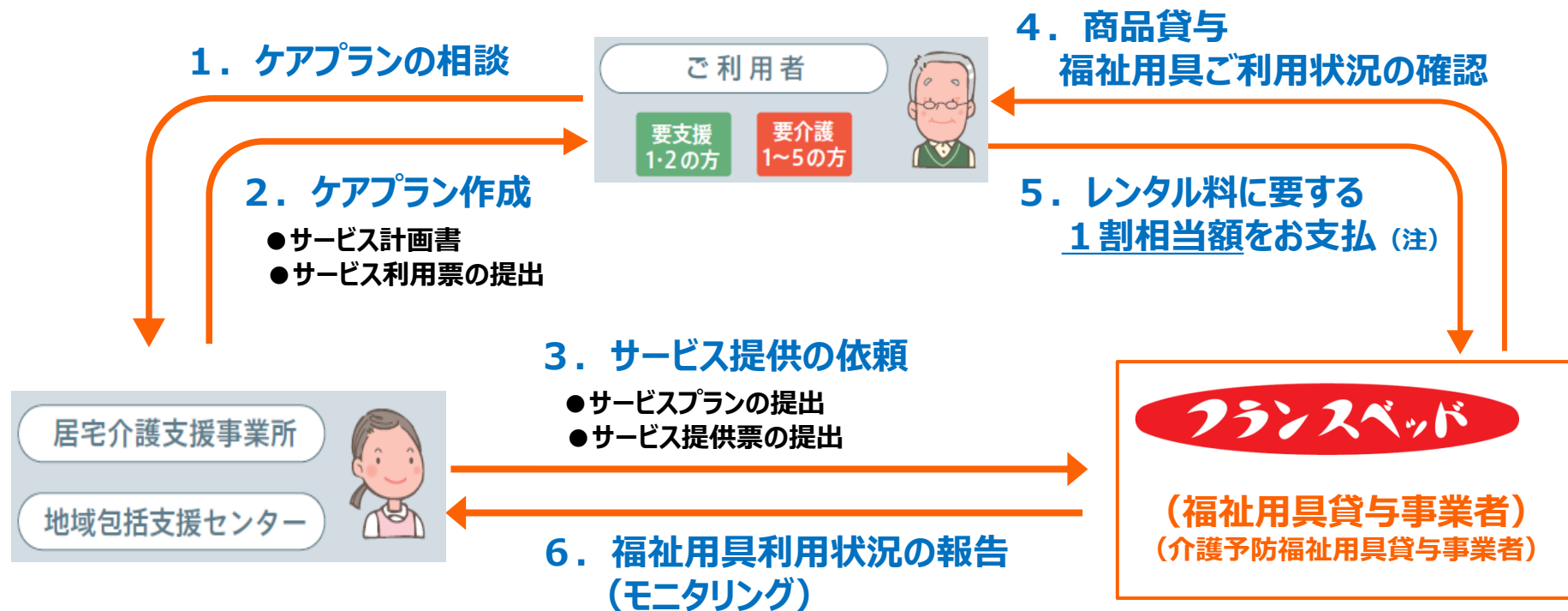
(福祉用具レンタルサービス)

ユーザー (介護保険利用者)

福祉用具レンタルサービスについて

日常生活や介護に役立つ福祉用具をレンタルするサービスです。福祉用具のレンタル費用の **1割相当額**（注）のご負担で利用することができるサービスです。

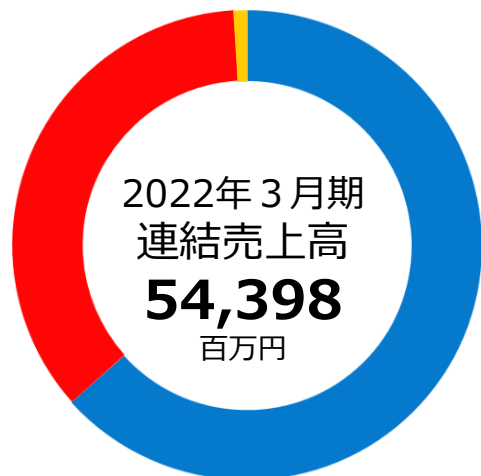
●福祉用具レンタルサービスの流れ



（注） 2018年（平成30年）4月の介護保険法（平成9年法律第123号）の改正により、2018年8月1日から一定以上の所得のある場合、自己負担割合が **2割**、または **3割**となりました。詳しくは、お住まいの市区町村にご確認下さい。

2022年3月期セグメント別決算概況

セグメント別売上高と構成比

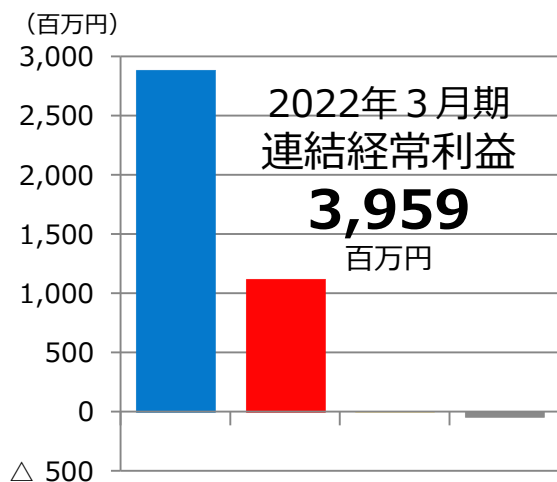


■ メディカルサービス事業 **34,484百万円** (構成比63.3%)

■ インテリア健康事業 **19,419百万円** (構成比35.6%)

■ その他 **494百万円** (構成比 0.9%)

セグメント別利益と構成比



■ メディカルサービス事業 **2,882百万円** (構成比 72.8%)

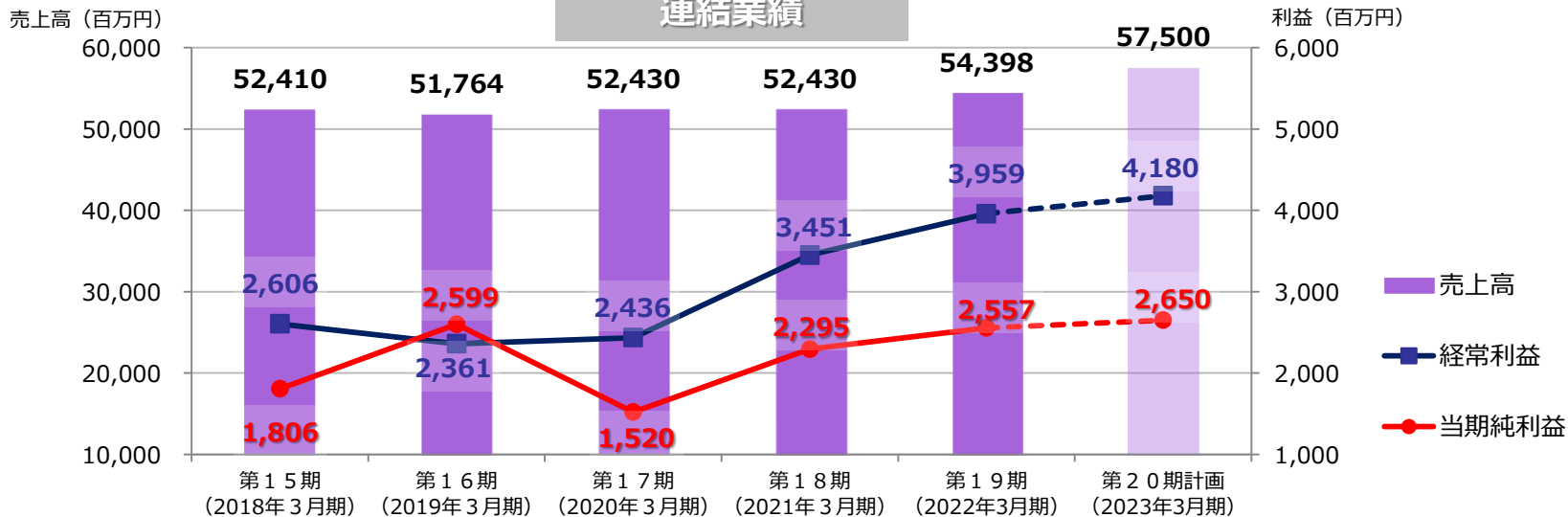
■ インテリア健康事業 **1,117百万円** (構成比 28.2%)

■ その他 **3百万円** (構成比 0.1%)

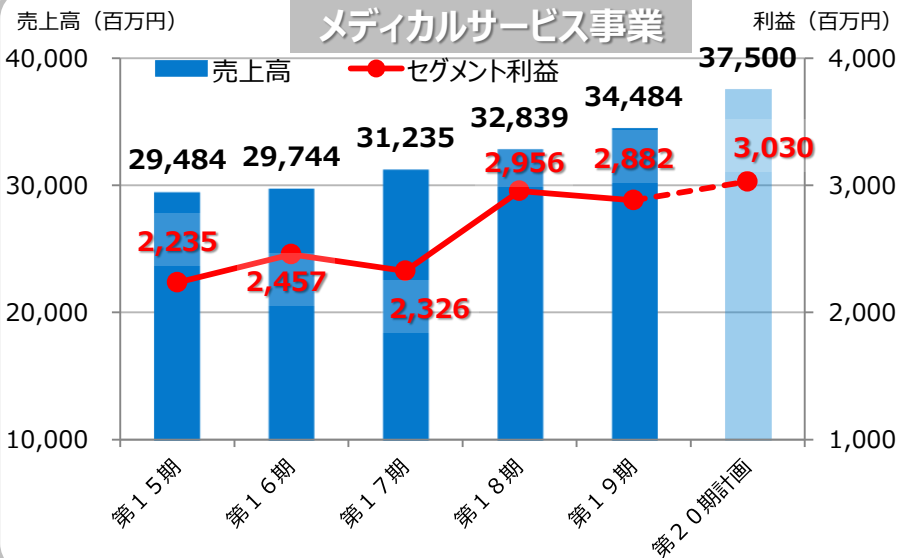
■ 調整額 **▲45百万円** (構成比 -%)

業績推移

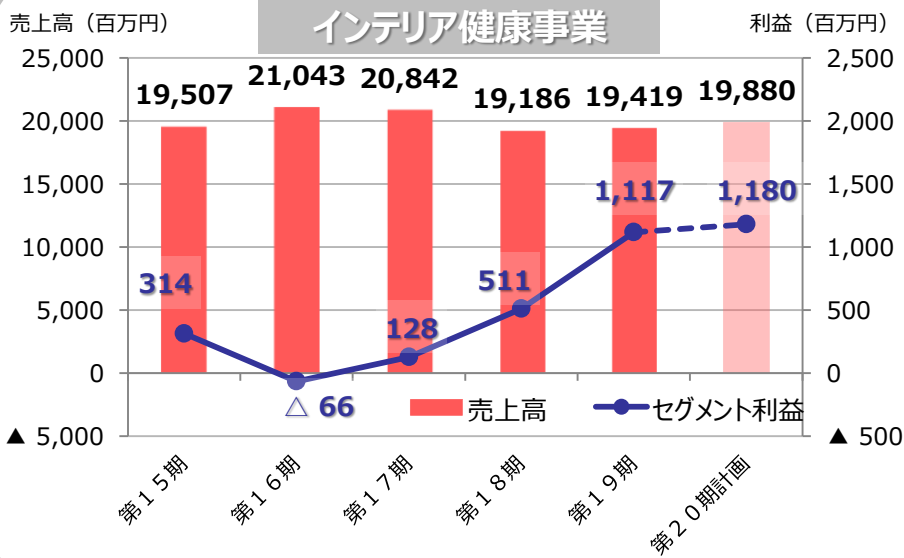
連結業績



メディカルサービス事業



インテリア健康事業

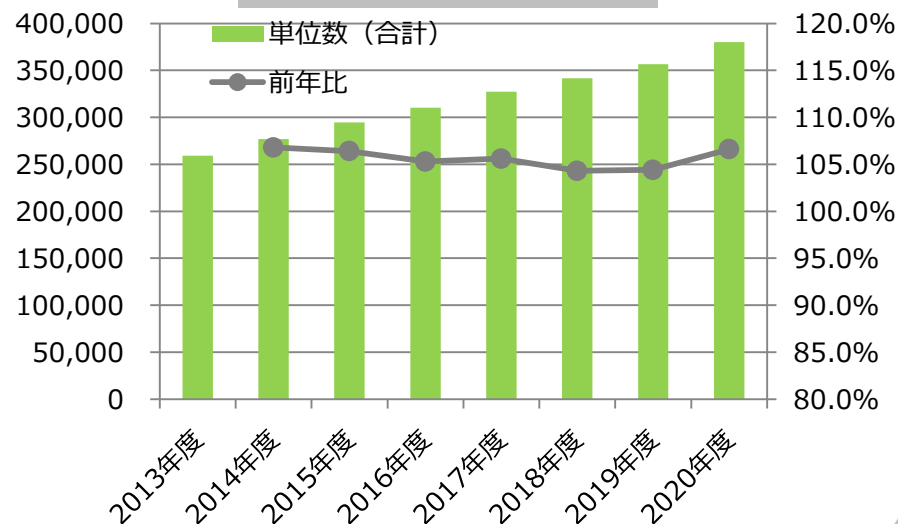


※第19期(2022年3月期)より、セグメント利益を営業利益から経常利益に変更しております。上表では、第15期～第17期を営業利益、第18期以降を経常利益にて表示しております。

福祉用具貸与サービス介護給付費等推移

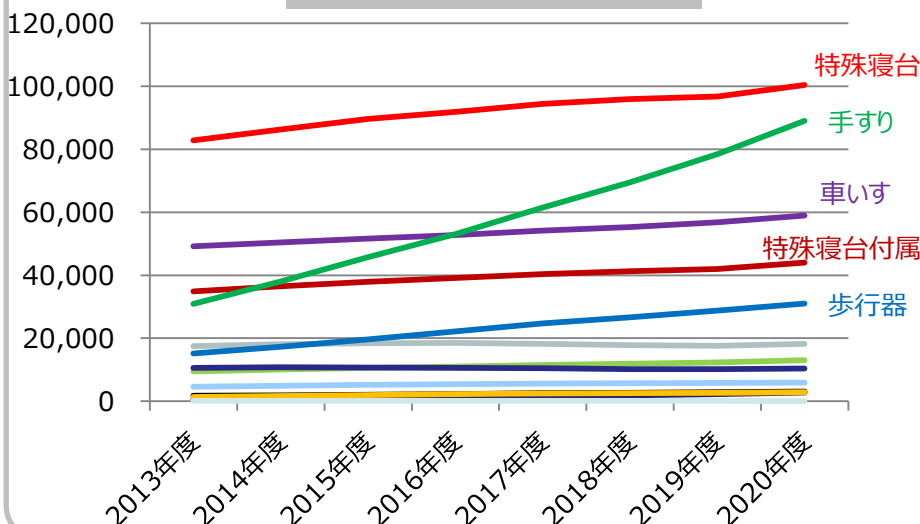
給付費用（10万単位）

給付費用・前年比推移



給付費用（10万単位）

種目別給付費用推移



（単位：10万単位≒100万円）

【福祉用具貸与種目別費用額推移】

	2013年度			2014年度			2015年度			2016年度			2017年度			2018年度			2019年度			2020年度		
	単位数	前年比		単位数	前年比		単位数	前年比		単位数	前年比		単位数	前年比		単位数	前年比		単位数	前年比		単位数	前年比	
総数	259,144			276,818	106.8%		294,428	106.4%		310,110	105.3%		327,368	105.6%		341,526	104.3%		356,626	104.4%		380,016	106.6%	
車いす	49,217			50,475	102.6%		51,619	102.3%		52,751	102.2%		54,200	102.7%		55,324	102.1%		56,834	102.7%		59,001	103.8%	
車いす付属品	4,631			4,934	106.5%		5,218	105.8%		5,435	104.2%		5,607	103.2%		5,684	101.4%		5,785	101.8%		5,878	101.6%	
特殊寝台	82,865			86,302	104.1%		89,607	103.8%		91,927	102.6%		94,407	102.7%		95,895	101.6%		96,766	100.9%		100,448	103.8%	
特殊寝台付属品	34,853			36,457	104.6%		37,970	104.1%		39,134	103.1%		40,386	103.2%		41,236	102.1%		41,981	101.8%		44,058	104.9%	
床ずれ防止用具	17,481			18,076	103.4%		18,383	101.7%		18,512	100.7%		18,201	98.3%		17,825	97.9%		17,603	98.8%		18,237	103.6%	
体位変換器	712			713	100.2%		723	101.4%		807	111.6%		1,355	167.9%		1,878	138.5%		2,295	122.2%		2,785	121.3%	
手すり	30,930			37,989	122.8%		45,733	120.4%		53,118	116.1%		61,494	115.8%		69,502	113.0%		78,455	112.9%		89,041	113.5%	
スロープ	9,430			10,099	107.1%		10,593	104.9%		11,023	104.1%		11,498	104.3%		11,916	103.6%		12,357	103.7%		13,058	105.7%	
歩行器	15,183			17,296	113.9%		19,670	113.7%		22,136	112.5%		24,683	111.5%		26,696	108.2%		28,779	107.8%		31,066	107.9%	
歩行補助つえ	1,726			1,903	110.3%		2,112	111.0%		2,315	109.6%		2,543	109.8%		2,701	106.2%		2,870	106.3%		3,114	108.5%	
認知症老人徘徊感知機器	1,385			1,693	122.2%		1,961	115.8%		2,221	113.3%		2,436	109.7%		2,555	104.9%		2,671	104.5%		2,909	108.9%	
移動用リフト	10,629			10,753	101.2%		10,707	99.6%		10,610	99.1%		10,445	98.4%		10,218	97.8%		10,148	99.3%		10,345	101.9%	
自動排泄処理装置	103			127	123.4%		131	103.2%		120	92.1%		112	93.2%		96	85.9%		82	85.5%		77	93.6%	

※厚生労働省「介護給付費等実態統計月報」。

※各年度の数値は、当年5月審査分から翌年4月審査分までの合計。

(問合せ先)

経営企画部 Email: ir@francebed-hd.co.jp

(将来見通しに関する注意事項)

本プレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。
また、要因はこれらに限定されるわけではありません。

- 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
- 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
- 為替相場の変動
- 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M & Aなどの事業展開
- 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化
- 原価低減や設備投資を計画通り実施する弊社の能力
- 新製品を開発し市場へ投入する弊社の能力